

担 当	ハローワーク郡山	
	業務部長	杉岡 辰雄
	職業相談第二部門	
	統括職業指導官	藤原 一典
	上席職業指導官	藤田 睦美
	電話	024-927-4633

平成27年度新規高卒者就職面接会（郡山会場）アンケート結果

～企業の求める「コミュニケーション能力」と生徒の実態にギャップ～

平成27年11月4日に開催した平成27年度新規高卒者面接会（郡山会場）において実施した企業アンケート、生徒アンケートの結果を集計しましたのでお知らせいたします。

●調査概要

- ・調査日 : 平成27年11月4日
- ・調査対象 : 面接会参加企業及び生徒
- ・調査方法 : 面接会会場で調査対象者にアンケート用紙を配付し、会場で回収
- ・回収件数 : 配付企業 93社 (アンケート回収 82社 : 回収率89%)
配付生徒 147名 (アンケート回収 137名 : 回収率93.2%)

●アンケート結果

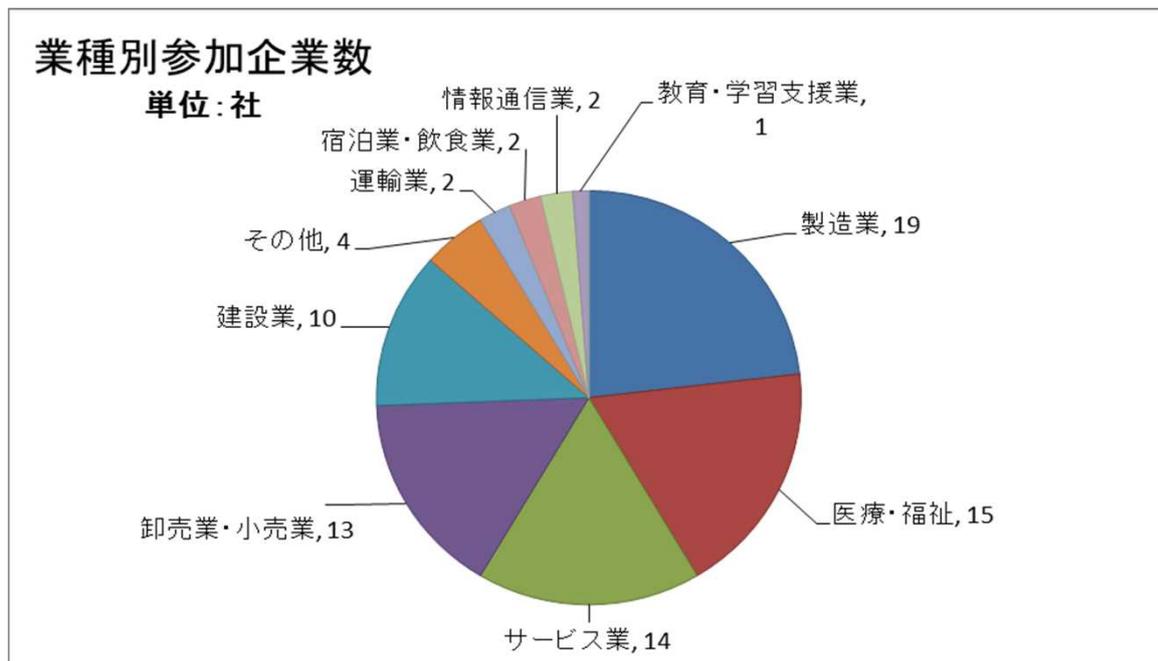
詳細については、別添の参考資料をご確認ください。

平成27年度 新規高卒者就職面接会(郡山会場)
事業所・生徒アンケート集計結果

参考資料

参加企業数:93社

(アンケート回収 82社 : 回収率89%)

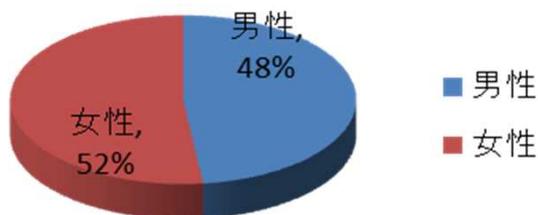


「製造業」が19社と最も多く、「医療・福祉」15社、「サービス業」14社、「卸売業・小売業」13社と続き、第三次産業の業種が半数を占めている状況となりました。

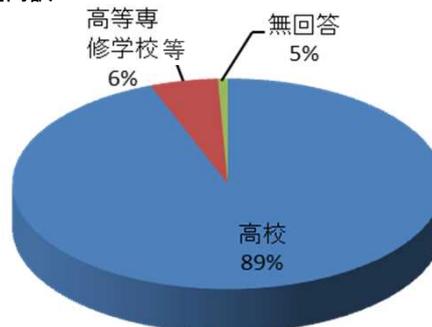
参加生徒:147名

(アンケート回収 137名 : 回収率93.2%)

男女内訳

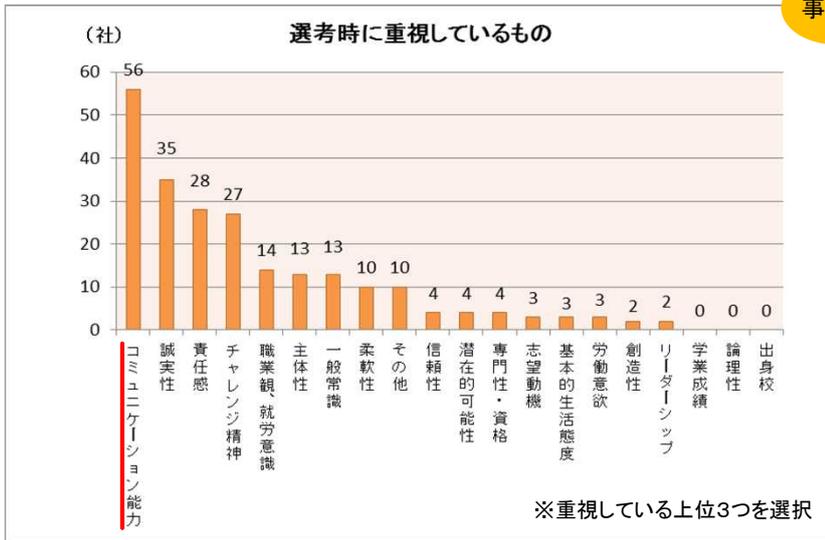


学歴内訳



男女内訳は半々の割合、学歴では、高等学校が約9割を占める結果となりました。

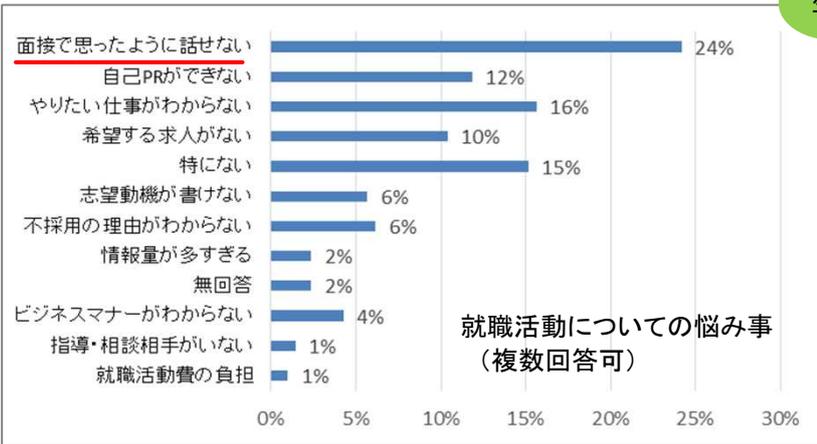
参加企業、生徒に対しアンケートを実施したところ、事業所が採用選考時に重視しているものとしてコミュニケーション能力を上げる一方、生徒は「面接時にうまく話せない」などコミュニケーション不足を感じている結果がでました。



事業所

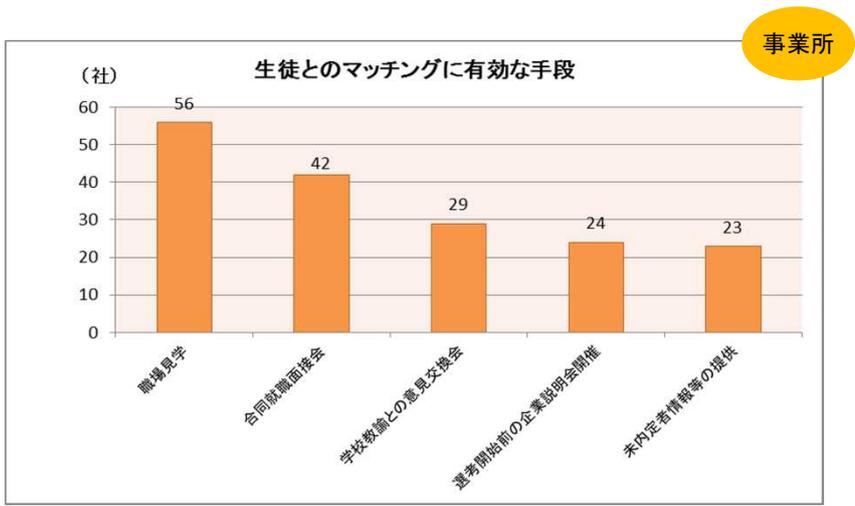
コミュニケーションを重視する結果が例年1位を獲得。企業がいかにコミュニケーションを重視しているのかがえま

生徒

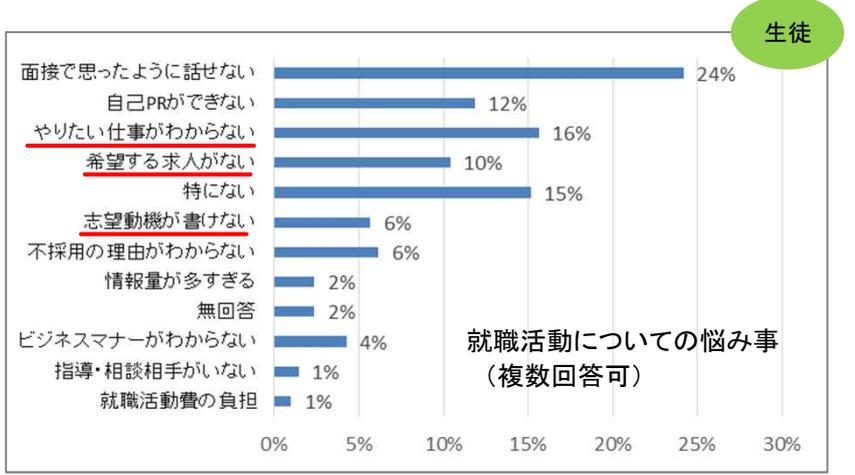


「面接で思ったように話せない」
自己理解不足により自分の考え等がまとまっていない可能性や、マニュアル通りにしなくてはいけないの思いから、うまく話せないのではないかと考えられます。

生徒とのマッチング促進のための有効手段としては「職場見学」、「合同就職面接会」が上位を占めています。



職場見学や面接会において、会社の概要や仕事の内容などの情報を正しく把握してもらうことや、生徒の型にはまった答えではなく、自然な姿や個性を知る機会として重要ととらえていると思われます。



一方、生徒は自己理解不足に加え、職業理解不足、企業研究不足が見受けられ、職業意識形成を図る上でも、職場見学、面接会は有効と考えられます。

このように、事業所が求める人材像と生徒の実態には乖離がある現状を踏まえ、郡山新卒応援ハローワークでは、事業所及び生徒(学校)に対し、下記支援策を実施します。

事業所

- 職場見学会の受入れ事業所の確保
- ジュニアインターンシップ受入れ事業所の確保
- 高校内外企業説明会の拡充
- 選考・採用、職場定着に関する情報提供(生徒が求める企業像、離職理由等)
- 職場情報提供の促進
- 若者応援宣言事業の促進

生徒

- 個別セミナー及び出張相談の実施
- 職業講話及びガイダンスの実施
- 情報提供の拡充
 - ・ 事業所(先輩)の声、企業が求める人材像
 - ・ ハローワークの取組みや実績(職業講話、企業説明会等)
 - ・ 就職活動に役立つエピソード等